

平成 30 年 5 月 15 日

報 道 各 位

新 潟 市
井 関 農 機 株 式 会 社
株 式 会 社 中 セ キ 信 越
株 式 会 社 ス カ イ マ テ ィ ク ス
国 際 航 業 株 式 会 社
ウ ォ ー タ ー セ ル 株 式 会 社

「スマート農業 企業間連携実証プロジェクト」を開始しました（お知らせ）

新潟市と井関農機株式会社、株式会社中セキ信越、株式会社スカイマティクス、国際航業株式会社、ウォーターセル株式会社は、各企業が有する革新的技術を組み合わせ、スマート農機（ICT 田植機、ICT コンバイン）やリモートセンシング（ドローン、人工衛星）で得られた情報を、営農支援システム「アグリノート」に集約し一元管理することで、稲作の省力化や低コスト化、高品質化に向けた定量的評価を行うことを目的に、実証実験を開始しました。



■背景

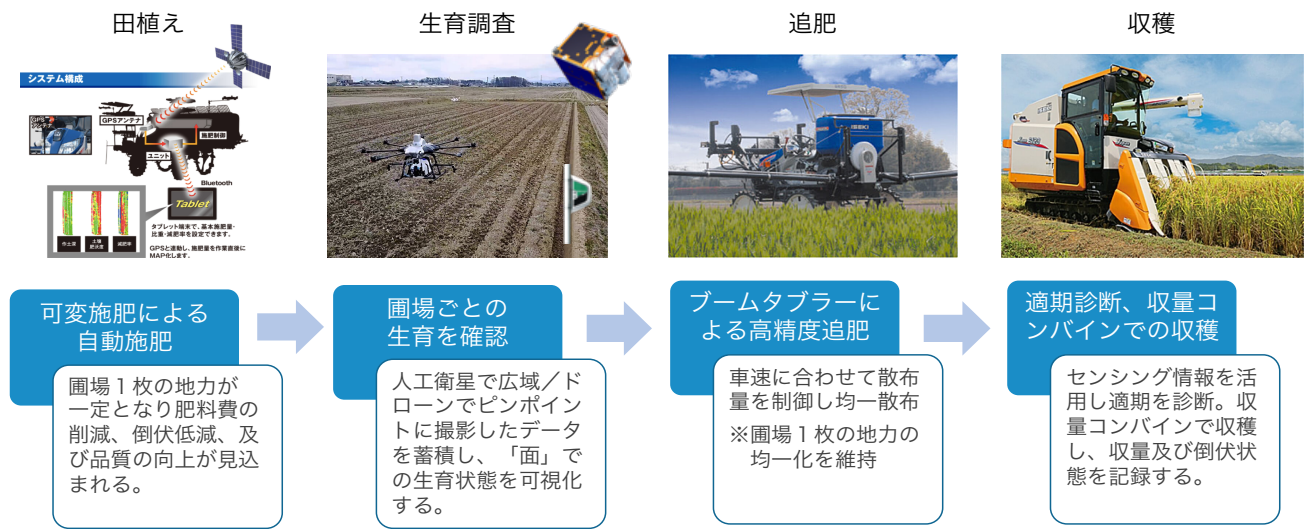
新潟市は平成26年5月に国家戦略特区に指定されて以降、規制緩和を活用した事業に加え、革新的技術を有する大手企業や農業ベンチャーと連携し、複数の実証プロジェクトを立ち上げるなど、国内最先端のICT農業を積極的に進めてきました。しかしながら、得られた情報の一元管理や取組みの成果の可視化が難しく、大きな課題でありました。

■プロジェクト概要

本プロジェクトでは、各企業が有する革新的技術を組み合わせ、クラウドで一元管理して「結果の見える化」を実現することを目的に、下図のとおり、データに基づく水稻の栽培管理を実証していきます。

モニターはアグリノートのアクティブユーザーである「有限会社米八（新潟市南区）」で、作付品種は、昨年本格栽培が始まった新潟県の新品種「新之助」です。

実証区（36a×2箇所）と慣行区（10a）を設け、実証区ではスマート農機やリモートセンシングなどの最先端技術を投入するとともに、収穫後に収量や品質等について、慣行区と比較検証する予定です。



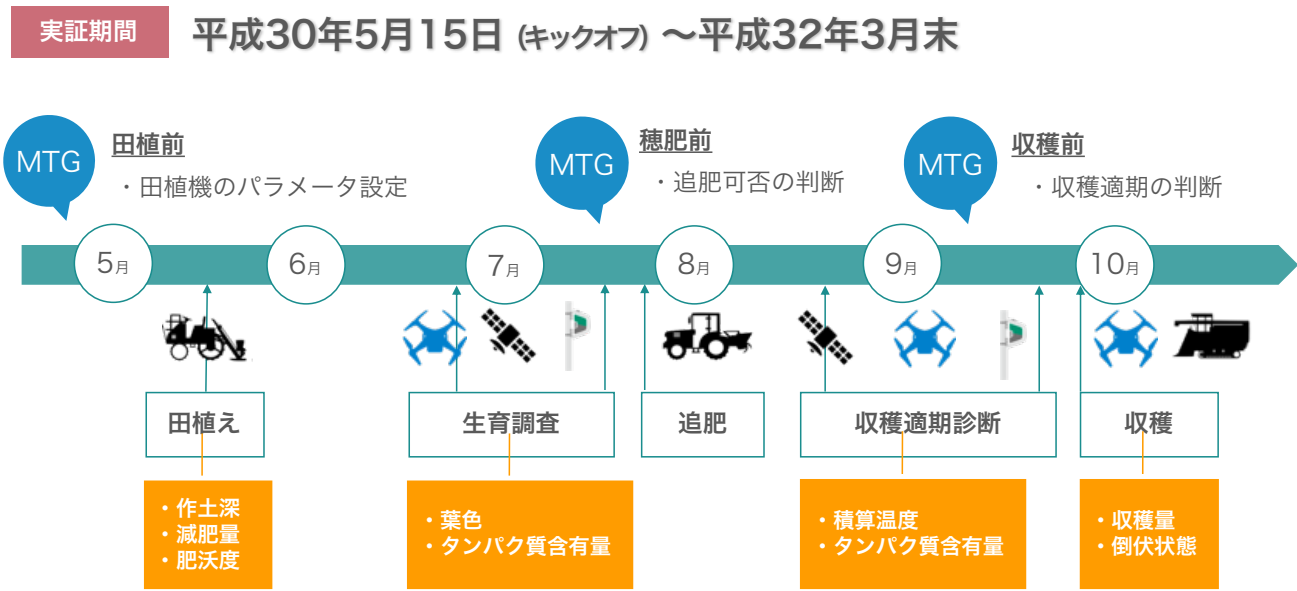
営農管理システム『アグリノート』で見える化

■各事業者の役割

連携事業者	主な役割
 井関農機(株) 井関信越(株)	・ICT田植機（可変施肥＋直進アシスト）による田植え ・ICTコンバイン（収量センサ測定）による収穫 等
 スカイマティクス(株)	・ドローンによるリモートセンシング
 国際航業	・人工衛星によるリモートセンシング
 ウォーターセル(株)	・アグリノートによる農業情報の一元管理
 新潟市	・農業者とのマッチング、全体の事業調整

■実証スケジュール

事業期間は2ヵ年で、事業1年目に農業情報の一元管理・見える化（オープンイノベーション）、事業2年目に農業情報を基にした農業経営支援（商業ベースでの機能強化）に取り組めます。また、各生育ステージにおいて、プレス公開による実演を行う予定です。



■当リリースに関するお問合せ先

<スマート農業 企業間連携実証プロジェクトについて> 新潟市ニューフードバレー特区課 小出、近 TEL : 025-226-1864 E-Mail : foodvalley@city.niigata.lg.jp	<スマート農機について> 井関農機株式会社 I R・広報室 TEL : 03-5604-7709 E-Mail : isk-info@iseki.co.jp
<アグリノートについて> ウォーターセル株式会社 スマート農業推進部 TEL : 025-282-7368 E-Mail : release@agri-note.jp	<ドローンによるリモートセンシングについて> 株式会社スカイマティクス 問い合わせ窓口 E-Mail : info@skymatix.co.jp
<人工衛星によるリモートセンシングについて> 日本アジアグループ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 国際航業 広報担当 E-mail : info-kkc@kk-grp.jp	